

ベトナム文化芸術スポーツ観光研究所（VICAST）と 観光分野の研究活動の連携・協力に関する覚書を締結

運輸総合研究所（JTTRI）は、2025年11月12日にベトナム社会主義共和国・ハノイにおいて、同国の文化・観光分野に関する政府系のシンクタンクであるベトナム文化芸術スポーツ観光研究所（VICAST）と5年間の研究交流等に関する覚書（MOU）を締結し、その署名交換式を開催しました。

これまで2023年10月に、持続可能性に配慮した質の高い観光の実現に向けて研究協力を進展・強化するため、当時のベトナム観光開発調査研究所（ITDR）とMOUを締結しましたが、2025年4月にVICASTがITDRを統合して観光分野を研究領域に加えたことにより、VICASTにおいて文化や芸術の振興と融合した観光分野の発展に向けた取組みが行われ、JTTRIの研究活動との連携・協力の拡大も期待されることから、このたびの覚書の締結に至りました。

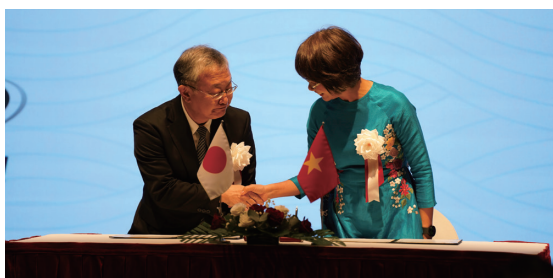
観光分野の発展にとって、観光資源の重要な要素と

なる文化や芸術等の維持・発展は欠かせないものです。日本とベトナムはともに、観光客を魅了する自然や文化を豊富に有しており、これらを最大限活用して持続可能な観光の実現に向けて取り組むことは、両国に共通する重要な課題です。JTTRIとVICASTは、共同で行う研究活動や情報発信等を通じて、持続可能な観光の実現に向けて日本・ベトナム両国の観光分野の発展に資することを目的として、両機関の連携・協力を推進してまいります。

主な連携・協力内容

- ①共同研究活動の実施
- ②研究者及び専門家の交流
- ③フォーラム、ワークショップ、セミナーの開催や参加
- ④観光に関する情報及びデータの交換
- ⑤特別な短期プログラムと訪問

覚書署名交換式の写真



JTTRI 奥田専務・アセアン・インド地域事務所（AIRO）所長、VICAST フォン所長



（前列左から）JTTRI 奥田専務・AIRO 所長、VICAST フォン所長
（後列左から）JTTRI 富田主任研究員・AIRO 次長、在ベトナム日本国大使館伊藤大使、ベトナム国家観光局カイン長官、VICAST ビン氏

国際高速鉄道協会（IHRA）と連携・協力に関する覚書を締結

一般社団法人国際高速鉄道協会（IHRA）及び運輸総合研究所（JTTRI）は、連携・協力に関する覚書を2025年12月18日に締結し、JTTRI 事務所にて締結式を開催しました。

IHRAは、東海道新幹線開業50周年を機に2014年に設立されて以来、国際的な公共財である「新幹線システム」に関する情報や知見、経験の共有を通じて、安全かつ効率的な高速鉄道の世界的な発展に寄与することを目的として活動しています。

一方、JTTRIは、研究所本部とワシントン国際問題研究所（米国）及びアセアン・インド地域事務所（タイ王国）が連携し、交通運輸・観光に関する情報や知見、経験の共有を通じて、日本と諸外国の交通運輸・観光分野の発展及び相互理解の増進に寄与することを目的として活動しています。

今般、IHRAとJTTRIは、相互の協力を推進し、相互の情報、人材等を活かして総合力を発揮することにより、日本及び諸外国における高速鉄道などの交通運

輸・観光の発展、諸外国との連携の強化に資するため、諸外国におけるニーズを含め交通運輸・観光に関し収集した情報や知見、経験などの共有並びに諸外国に対する情報提供、啓発活動等の推進を目的として、覚書を締結しました。

締結式の写真



（左から）JTTRI 山腰主席研究員・国際部長、宿利 IHRA 理事長・JTTRI 会長、IHRA 仲村事務局長